

西田小学校・同窓会 会報

発行者 西田小学校同窓会

編集責任者・田村晋一郎(二期生)

2010 年 5 月 29 日 西田小学校運動会 4 年生によるマスゲーム Dream Ship 元気丸!! (田村晋一郎 撮影)



ご挨拶

同窓会会長 土屋忠夫(3 期生)

今年も会報を発行できました。維持会員の皆様のご支援を感謝しています。地元では松浜中学や荻窪団地の建て替え工事があと一步で完成の所まで進み、時代のページがまた一枚めくられたような感じがしています。西田小では本年 3 月に 67 期生が卒業して行きました。また運動会で上の写真のような元気な在校児童に接すると、小学校の同窓会の存在意義について考えさせられるものがあります。

会の執行部を務める理事の方々とは、いつも「小学校の同窓会とは何ぞや」の問いについて話し合いますが、懐かしさ以上の何かがあるとはされても、67 年もの年齢幅、10,000 人以上の多数の卒業生をカバーするような具体的な回答は得られていません。結局、ある時点が来て、誰かが答えを見つけてくれるまで、年長の仲間時代をつないで行くことで折り合いをつけています。

そろそろ、学校創立 70 周年の年が近づいてきます。本年度と来年 2011 年度の会報では、学校 70 年の歴史に触れる内容を多用してみることになりました。遠方にお住まいの皆さんには小学校時代の町を思い浮かべて頂きたいと思いますし、地元の若手の皆さんには自分の住む町にあったことなども知って頂きたいと願っています。

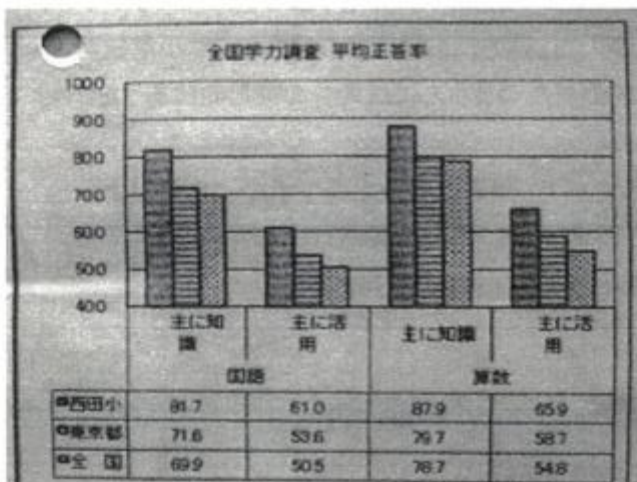
会で始めた「近隣の昔ばなし」の会もこの一環の企画で、講師は会長自身ですが、10 年以上かけて収集した信頼のおける古い資料だけを使い、口実による地元ばなしとは一線を画したものに仕上がったと自負していますので、是非とも一度覗いてみて頂きたいと思います。

最新の卒業生(第 67 期)に見る
当世卒業生気質(かたぎ)

今年も 82 名の児童が西田小学校を巣立っていきました。毎年、同窓会会長として卒業式に招待されます。校長先生から卒業証書をもらう前に、各人が参列者に向かって、中学生への抱負を一言で発表するのが恒例です。毎年、同じやり方をしているで、その年の生徒気質が見えていつも興味深く感じています。それで、今年の抱負の中のキーワードをまとめてみました。(一人で複数のキーワードがあります)



部活と勉強の両立を	18 名	宇宙工学をやりたい	1
勉強で頑張る	27	作家になりたい	1
英語に力を入れる	7	歌とダンスに注力	1
サッカーに注力	6	教師になりたい	1
いい友達を作りたい	5	絵をやりたい	1
野球に注力	4	オリンピック選手に	1
思い出を作りたい	3	洋服デザイナーに	1
数学に注力	3	宇宙飛行士に	1
新しいことに挑戦したい	2	漁師を目標に生物の勉強を	1
面白い事を探し夢につなげたい	2	オリンピックに出たい	
動物関係の勉強に注力	2	フィギアスケートで	1
外国での仕事を視野に勉強を	2	機械体操で	1
バレーボールに注力	2	動物の勉強を	1
物理学者を視野に	1	鳥の生態を勉強する	1
充実した生活を	1	正義感の強い人に	1
バスケットに注力	1	舞台女優になりたい	1
人の気持ちの分かる人に	1	色々の事に手を広げたい	1
学者になりたい	1	会計士を視野に勉強を	1
		弁護士を視野に勉強を	1
		楽しい中学生生活	1



2009 年 4 月 21 日に全国の 6 年生を対象に行われた文部省の全国学力・学習状況調査の結果が西田小学校通信に掲載されていました。左が西田小、中が東京都、右が全国の平均正答率です。また中段左から「国語の知識」「国語の活用」「算数の知識」「数学の活用」の項目についてとなっています。後輩も頑張っているようです。

算数

西田小学校の話題

- 校舎の屋上から東京スカイツリーが眺望できる。【 2010 年 10 月 6 日撮影 】

冬になって天気の良い日ならばもっとはっきり見えるであろう



- 学校の今年の話題は 中庭が芝生化されたこと。



学校近隣の話題

- 松浜中学 校舎全面改築

工事 完工間近。

校舎の落成式は 11 月 1 日に行われる。
校庭の作業が終わるのは来年 3 月頃と云われている。



一枚の古い写真

田端神社境内にて

「 2 代目校長宮下先生・・・昭和の時代にもあった寺子屋の仲間 」

2 代目校長 宮下先生



この写真は太平洋戦争終了の翌年(昭和 21 年)の夏に撮られたものである。場所は田端神社の神殿前。西田小学校は前年の 5 月に空襲で焼けて、生徒は通学する校舎を失った。この地域では、武井儀平さんの屋敷が教室となった。この写真に武井儀平氏夫人も写っている。

臨時寺子屋は桃井第二で寄校授業が始まった昭和 20 年 11 月まで続いた。一方、多くの集団疎開児童が長野県から帰ったのは、やはり 11 月で、彼らはこの寺子屋のことは全く知らない。

西田小の名物先生であった安里先生の遺品の中に、この写真があり、奥様の御好意で同窓会一期生の志甫さんが頂戴し、この写真が同窓会に提供された。安里先生は神社のそばに住んでおられ、この写真にも写っている。ここに写る生徒は4期から8期くらいの卒業生で馴染みの顔も多く、おまけに現在の同窓会理事が二人も入っている。筆者の弟もいる。また鬼籍に入った方も多く、時代を感じる。二代目校長の宮下先生も顔をのぞかせておられ、加えて近所の大人たちが大勢で協力していた雰囲気が出ている。

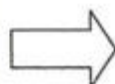
同窓会を通して地元に触れた一枚の写真である。

会報へのお問い合わせ： 田村晋一郎： ☎167-0051 杉並区荻窪 3-39-11

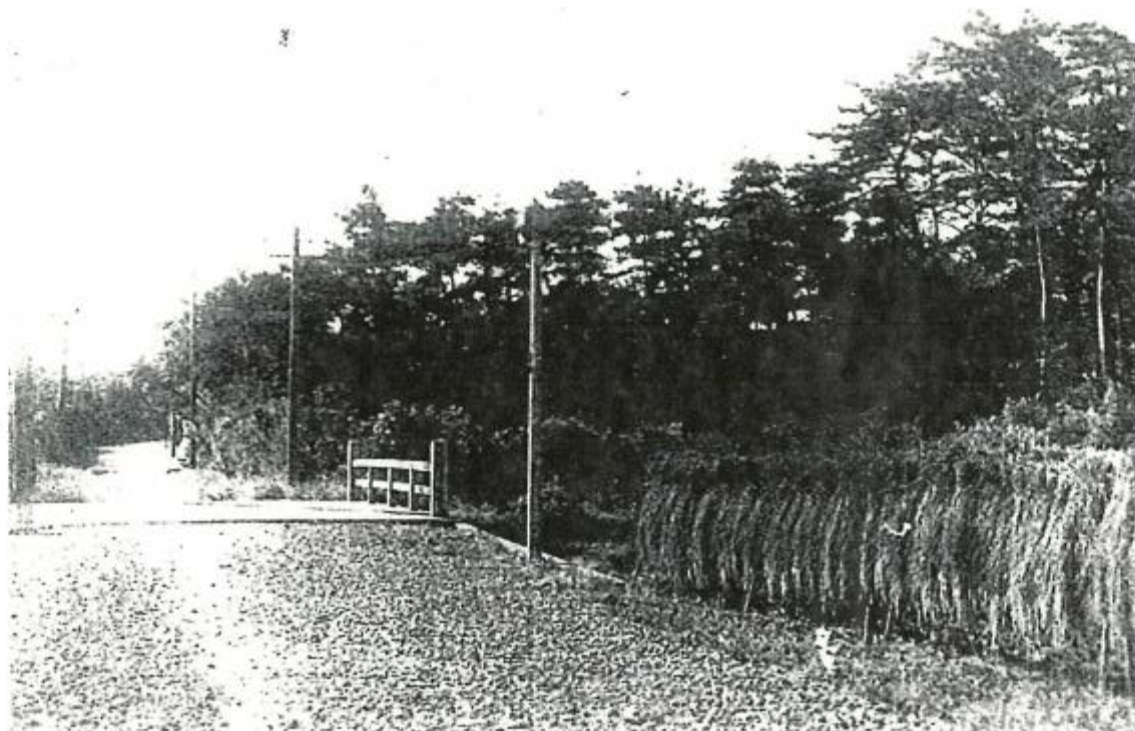
ys-tamura@icom.home.ne.jp

土屋忠夫： tadao-t@taupe.plala.or.jp

西田町時代の風景 松溪橋
荻窪3丁目の現在の松溪橋



西田小学校は2012年に創立70周年を迎える。
第1期の卒業生はこの年度で80歳になられる。
現在の同窓会メンバーは1期生から25期生が中心で、これからはもっと若手にも幅を広げて行きたいと願っているものの、どうしても話は古くなる。
こうなれば、あと2年、会報は10期生、20期生世代が経験し今や歴史的にもなる事柄を残すことにも意味があると思うのである。



この写真は6期生の宮崎浩さんより頂戴したものである。右には稲が干されている懐かしい風景で、このあたりも田んぼであったことが解る。昭和30年前後の写真と思われる。

筆者の知る松溪橋はこの橋の前身で、大水ですぐ流されるような簡単な橋であった。ある大水の日、橋が流され、橋があると思って渡ったよその小学校の児童が亡くなったという話があり、その後、西田小学校では雨が降ると先生がここに立ち、児童をリードした話が伝わっている。

写真の右上に見えるのは松の大木の林で、明治13年の陸軍作成の地図では、ここに「山神社」があったと記録されており、一帯の地名「大ヶ矢戸(小名)」の鎮守様であったと云われ、明治時代に田端神社に合祀された。現在は松溪中学の敷地の一部に当たる。後に架けられた松溪橋の一つ下流の橋には大谷戸橋という名が付けられている。

世話人会開催(2010 年 7 月 25 日) 西田小学校内ゆうゆうハウスにて

本年度も 5 名の新世話人が誕生しました。今回上野万佐子さん(21 期)が退任され、世話人は 28 名になりました。新世話人は藤田慎治(11 期)、島田真理子(18 期)、萩原伸一(20 期)、大石紀子(23 期)、早坂義弘(38 期)の方々です。前年度に引き続き若返りが一層進みました。



これにより、多くの方のご意見を入れて、存在感のある会に向けて模索を続ける体制は整ったと捉えています。先ず世話人と執行部隊との突っ込んだ話し合いの場を設ける事を計画中です。

2009 年度 新たに維持会員に登録された方のお名前

以下の方々を 2009 年度登録 維持会員と称させていただきます。時期で区別するのは 5 年後【2014 年度】に次回の会費を請求させて頂く為のものです。

卒業期	35 名				
3	川村 秀				
6	山本 昌祐				
7	長谷川義朗	竹内 孝次郎			
12	戸部田京子	吉金 博子			
13	中沢 一郎				
14	伊達 暁子	半田 恭子			
15	小林 保男	川上 博志	斎藤 央道	沢村 仁司	神内 勇美子
16	橘 民世	松村 朝次			
17	武井 成之	横川 和則			
18	若月 一郎	都筑 章	平間 美民		
19	足立 礼子	落合 昭子	宇田川 政幸	奥田 悦子	古畑 由美子
	栗田 真由美	佐藤 恭子	高橋 進	須田 裕子	坂口 洋子
	梶原 譲治	山崎 精一	桂嶋 祐通		
20	中村 文英				

収支計(A)―(B)	
次期繰越金	1,671,946

● 会員からのメッセージ ()は編集者コメント

永田すみ子さん(7期生)

一年生の思い出を大切にしております。坂本竜馬のドラマを見ていますか。これからの日本という国がどう充実したよい国になるか。現役世代の活躍を期待しています。

金田律子さん(10期生)

住所が変わりました。(新住所をお知りになりたい方は、同窓会にお問い合わせください)

志村洋子さん(10期生)

今年も無事収穫を終えました。(南房総市で農業に従事中。ただし昨年11月の事です)

濱井七男さん(11期) 維持会員になりたいのですが手続きを教えてください。(今回3,000円の寄付を頂戴しました。2,500円を会費(5年分一括)とし、500円を寄付扱いとさせていただきます。すでに維持会員です)

徳永三枝子さん(20期-3組)(千葉市在)

帰省の折は、犬の散歩などで西田小の周りを歩いています。そろそろ還暦も近く、創立70周年記念の同窓会で集まれたらいいと思います。(来年から記念行事の話が始まります。どんな形になるかわかりませんが、何か決まりましたらご案内致します)

古畑由美子(19期4組)

還暦となる今年、クラス会の知らせがありました。先生のお身体の関係で来年に延びてしまいました。楽しみにしています。

畑幸江さん(旧姓武川さん。25期生)

21年6月20日に中野サンプラザで25期の同窓会が開かれました。久保田先生、中瀬先生、佐治先生が出席され盛会でした。(先生がご存命とは羨ましい限りです。同期会継続を期待します)

田辺恵一さん(17期生) 同期会を対上げるべく、古い情報を頼りに住所録を作成中ですがなかなか集まりません。一人の情報でも結構ですので幹事の横川和則(電話080-6792-0413又はメール ktykkw@ybb.ne.jp)又は田辺恵一(電話080-5099-0611)までお知らせ下さい。来年3月に同期会開催に漕ぎつけたいと思っています。

第2回 西田小学校・同窓会主催 「近隣の歴史ばなしの会」 開催のお知らせ

日時: 2010年12月4日(土) 午後5時30分 開演

場所: 衍芸館(かんげいかん)・・・前回と同じ場所

住所: 荻窪3-39-14 **電話:** 03-5347-2668

講師: 土屋忠夫 (西田小学校 同窓会会長)



写真は第一回の会当日(5月22日)の風景です。

場所は衍芸館(かんげいかん)。杉並区立中央図書館や体育館に隣接した場所にあつて荻窪3丁目自慢のスポットです。同窓会のメンバーに加え、地域

の仲間が計25名参加。西田小学校の榎本勉校長先生も駆けつけて下さいました。

第一回目の「甲武鉄道ばなし」は、先ず、明治21年に井上勝・鉄道局長から伊藤博文初代総理大臣に宛てた公文書写を取り上げる所から始まりました。文書は甲武鉄道建設が或る契機から一挙に進み出した事を示すと同時に、これからの話の展開にも重要な伏線がいくつか含まれていました。このことは次回以降の話で明らかにされます。文書に出てきた二人は長州藩士出の旧知の仲で、伊藤博文は今ブームの坂本竜馬の5歳年下、そんな時代の話が語られました。

次回の講座が12月4日(土)に同じ衍芸館で5時30分より開始する事が決まりました。

中心テーマは「何故、甲武鉄道は新宿起点となったのか？」としました。今や誰も疑問を持たない新宿駅起点も、明治時代の公文書や当時の地図などの資料で掘り下げて行くと意外な事が解ってきます。

今回は2時間余の講座の後、軽食(マイセンのお好み弁当及び飲み物を予定)を準備して一時間ほどの雑談会(希望者のみ)を計画しましたので下記の要領でハガキでお申し込み頂きたいと思います。

なお会場・資料準備の都合上、定員の目途を近所の方を含め先着順で約30名とし、会費は講座のみで500円、講座と会食合わせて1,500円とさせていただきますので併せご理解下さい。

ハガキ宛名

田村晋一郎

住所: 〒167-0051 杉並区荻窪3-39-11 (電話)03-3398-4749

ご記入いただきたいこと

■受講者のご氏名及び住所と電話番号

■雑談会ご参加の有無 (必ずお知らせください)

申込期限: 11月25日まで必着

(定員オーバーの場合は改めてご相談させていただきます)